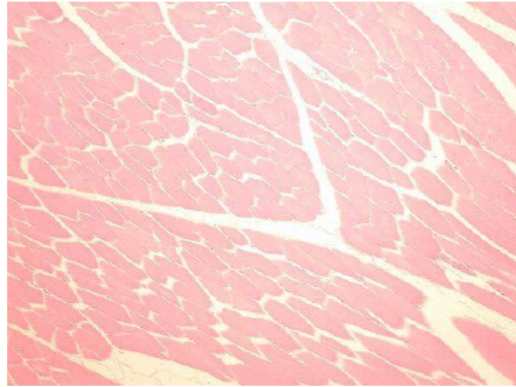


ふたつのレンズの向こう側🔍

by 自称プロテニスプレーヤー

いきなりですが、クイズです！

これはある物を顕微鏡でのぞいたときの写真ですが、いったい何でしょう？



答えは……



そうです！美味しそうな牛肉です。

私たち、と畜検査員が行う通常の検査は肉眼検査(目で見て判断する検査)です。でも肉眼では分からない病気もあります。そんな時には精密検査をしますが、そこで活躍するのが顕微鏡です。

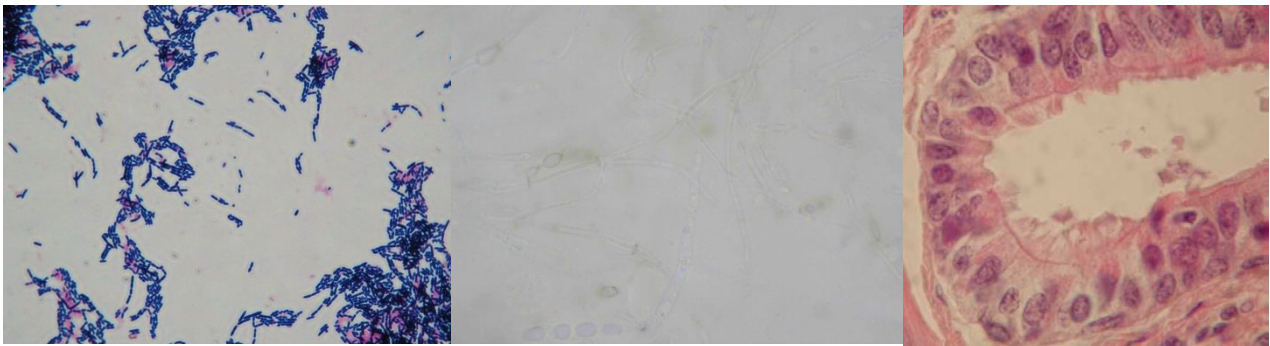
顕微鏡は1550年ごろオランダの眼鏡職人、ヤンセン父子が発明したとされています。顕微鏡には単式顕微鏡といって一つのレンズで物を拡大して観察するタイプと複式顕微鏡といって二つのレンズ(対物レンズと接眼レンズ)で拡大するタイプの二種類がありますが、一般的に顕微鏡と言えば、複式顕微鏡をさします。

ここ松阪食肉衛生検査所にも顕微鏡が何種類かあります。

普段一番よく使われているのがこれ、



生物顕微鏡です。高倍率(40倍～1000倍ぐらい)で微生物や血液、病理組織の観察をするのに使います。この顕微鏡には観察したものを記録できるようにデジカメも付いています。そのカメラで撮った画像はこんな感じです。(左から細菌、カビ、病理組織です)



次にご紹介するのは……



これは実体顕微鏡といいます。生物顕微鏡と形は似ていますが、こちらは数倍～40倍ぐらいの倍率で観察するための顕微鏡です。見たいもの(昆虫、草花など)をそのまま載せて観察することができます。また、実体顕微鏡は物を立体的に捉えることができるので、検体表面の細かい凹凸も観察できます。精密機械の組み立てや脳外科手術に使う顕微鏡も実体顕微鏡の仲間です。

そしてちょっと変わった形の顕微鏡もあります。



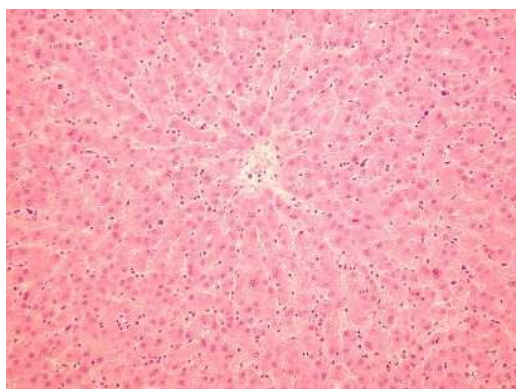
これはディスカッション顕微鏡といいます。1つの標本を同時に5人で観察できる仕組みになっています。検査所では見学に来られる方に牛の胃の中にある微生物を見てもらったり、判断の難しい病気について複数の検査員で検討したい時などに使っています。(左:小学生の見学風景、右:牛の第一胃の内微生物)



私たち検査員はこれらの顕微鏡を駆使して、安全なお肉やホルモンを提供できるように日々検査に励んでいるのです！！

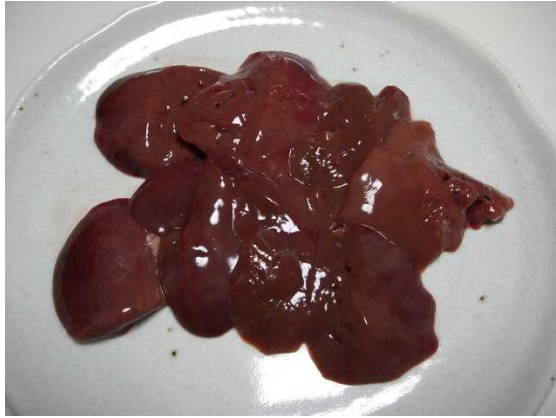
それでは最後にクイズです。

今日の私の夕食のおかずを顕微鏡で覗いてみました。これはいったい何でしょう～？



答えは…

「レバー」です。



よ〜く炒めてレバニラの出来上がり！！

